病　院　だより　2019年10月号　第383号

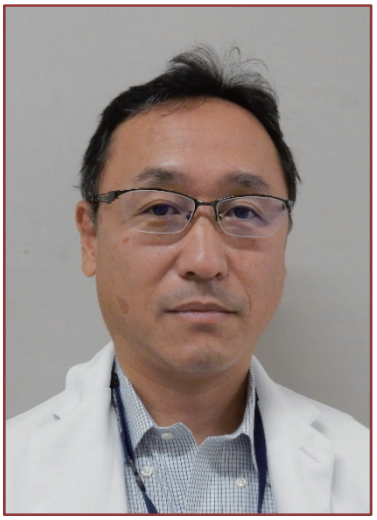
昭和大学病院　検索

昭和大学病院附属東病院　検索

発　行　昭和大学病院、昭和大学病院附属東病院
発行責任者　昭和大学病院長　板橋 家頭夫
編集責任者　広 報 委 員 長　中村 清吾

〒142-8666 東京都品川区旗の台 1-5-8
ＴＥＬ：03-3784-8000（代表）

就任の挨拶　腎臓内科　診療科長　本田（ほんだ） 浩一（ひろかず）



私は2014年の昭和大学江東豊洲病院のリニューアルに伴い、昭和大学病院腎臓内科から昭和大学江東豊洲病院腎臓内科に異動し、診療を行ってまいりました。江東豊洲病院では、腎臓内科や血液浄化室の立ち上げから携わりましたが、スタッフに恵まれ、現在は地域に根ざした腎臓内科として成長を遂げております。

この度、昭和大学病院腎臓内科の診療科長を拝命し、５年ぶりに戻って参りました。当診療科は 30 年以上の歴史があり、身が引き締まる思いであります。これまでの診療の質を維持し、新たな腎臓内科として発展できるように尽力する所存であります。ご指導、ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

プロフィール

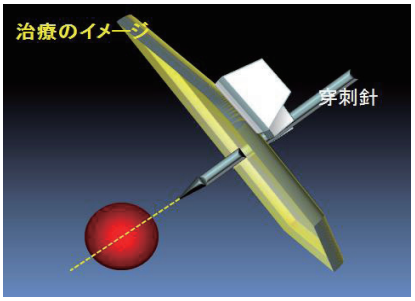
1992年	昭和大学医学部卒業
1992～2002年	昭和大学病院腎臓内科
2002～2004年	スウェーデン　カロリンスカ研究所留学
2004～2014年	昭和大学病院腎臓内科
2014～2019年	昭和大学江東豊洲病院内科系診療センター　腎臓内科
2019年６月～現在	昭和大学病院腎臓内科

診療科長としての意気込みや、今後の展望

腎臓内科は腎炎・ネフローゼ症候群から末期腎不全、透析や腎移植などの腎代替療法全般を診療対象としております。疾患特性から複数の診療科で治療を受ける症例が多いため、各診療科との連携を強化し診療を行います。また、今後は interventional nephrology を推進し診療を進めてまいります。

私達の強み

「ラジオ波焼灼術」といえば
消化器内科



肝細胞癌・転移性肝癌の局所治療によるラジオ波焼灼術によって、根治度の高い治療を安全かつ短期間の入院で完遂いたします。当院のラジオ波焼灼術の施行数は年間 106 件と豊富な症例経験を有しております。ご高齢の患者さん、方針について悩まれている患者さんもぜひご相談ください。

【消化器内科】　初診外来日＝月～土曜日　８：３０～１１：００

特徴１：根治度の高い治療

ラジオ波焼灼術といえば、肝臓に専用の針を刺入し焼灼療法を行いますが、手術と並んで根治度の高い治療法であり、１度で複数箇所の治療も可能です。超音波下で１箇所の治療を５～１０分程度で治療します。

特徴２：ご高齢の患者さんでも治療適応があります

全身麻酔ではなく局所麻酔で治療致しますので、患者さんの体への負担を軽減することができ、高齢化が進む中、手術を受けられないようなご高齢の患者さんでも治療の適応があります。

特徴３：早期退院することができます

体への負担が少ない分、治療後平均して６日前後が入院期間となっており、早期の社会復帰を目指すことができます。

羽ばたけ期待の医療人　No.17「看護師」

今月は「２年目 看護師」の黒川　春奈（くろかわ　はるな）さんをご紹介します。

【黒川　春奈さん】

看護師を目指した理由を教えてください。

高校生の時に看護体験に参加し、患者さんに寄り添い優しく声をかける看護師の姿に憧れました。また清潔ケアを一緒に行った際、患者さんからの「ありがとう」の言葉が嬉しく、人の役に立ちたいと思い看護師を志しました。

就職活動中、昭和大学病院のインターンシップに参加し、職場の雰囲気がよく、また新人教育が充実している点に魅力を感じて、就職しました。

現在はどのような業務をしていますか。

複数の患者さんを受け持ち、日々のケアや点滴管理、全身状態の観察などを行っています。循環器内科を担当しており、多くの患者さんが心電図モニターを装着しているため、モニター波形の観察が重要になってきます。１年目の頃は自己学習を行い、先輩方に確認していただきながら作業していましたが、２年目になり更に自信をつけたいと思い、心電図検定を取得しました。

今後、どのような看護師を目指しますか。

患者さんと接していると「忙しそうだから」と気を遣われる方がおられるので、忙しい業務の中でも患者さんとのコミュニケーションを積極的にとっていき、安心感を与えられるような存在になりたいです。また、日々精進して様々な経験を積み、知識を深めて、患者さんから信頼できるような看護師を目指していきたいです。

お知らせ　医師の配属・異動・退職について

新規配属医師

【附属施設から】2019年10月1日付

- 小児科　宮沢篤生（横浜市北部病院小児科から）
- 循環器内科　角田史敬（横浜市北部病院循環器内科から）
- 泌尿器科　橋本湧（藤が丘病院泌尿器科から）
- 皮膚科　新屋光一朗（横浜市北部病院皮膚科から）
- 脳神経内科　久保田怜美（横浜市北部病院内科から）
- 整形外科　岡田智彰（藤が丘病院整形外科から）
- 整形外科　新妻学（横浜市北部病院整形外科から）
- 耳鼻咽喉科　宇留間周平（藤が丘病院耳鼻咽喉科から）
- 小児科　前田麻由（横浜市北部病院小児科から）
- 循環器内科　森敬善（藤が丘病院循環器内科から）
- 放射線治療科　崔玲（江東豊洲病院放射線治療科から）
- 皮膚科　城内和史（横浜市北部病院皮膚科から）
- 乳腺外科　殿内裕美（藤が丘病院乳腺外科から）
- 整形外科　秋山幸平（江東豊洲病院整形外科から）
- 麻酔科　柴田晴子（藤が丘病院麻酔科から）
- 耳鼻咽喉科　永田衣利奈（横浜市北部病院耳鼻咽喉科から）
- 消化器・一般外科　箱崎智樹（横浜市北部病院消化器外科から）
- 眼科　嶌嵜創平（藤が丘リハビリテーション病院眼科から）
- リハビリテーション科　岩屋毅（藤が丘リハビリテーション病院から）
- 頭頸部腫瘍センター　松浦聖平（藤が丘病院耳鼻咽喉科から）

【他施設から】2019年10月1日付

・産婦人科　平野奈央（愛育病院より）
・産婦人科　小島七瀬（成育医療センター）

【新規採用】2019年10月1日付

・消化器内科　中島陽子
・皮膚科　岩立和子
・産婦人科　廣瀬佑輔
・産婦人科　清水信義
・産婦人科　吉竹瑶子
・心臓血管外科　益田智章
・腎臓内科　稲葉大朗

【学外研修から】　2019年10月1日付

・消化器・一般外科　柴田英貴
・消化器・一般外科　藤井智徳
・消化器・一般外科　大野浩平

異動

【附属施設へ】2019年10月1日付

・循環器内科　土至田勉（藤が丘病院循環器内科へ）
・循環器内科　中村友哉（藤が丘病院循環器内科へ）
・放射線科　竹山信之（藤が丘病院放射線科へ）
・泌尿器科　杉下裕勇（藤が丘病院泌尿器科へ）
・リウマチ・膠原病内科　及川愛（藤が丘病院腎臓内科へ）
・整形外科　八木敏雄（藤が丘病院整形外科へ）
・乳腺外科　松柳美咲（藤が丘病院乳腺外科へ）
・眼科　塚越美奈（横浜市北部病院眼科へ）
・リハビリテーション科　和田義敬（藤が丘リハビリテーション病院へ）
・循環器内科　河村光晴（横浜市北部病院循環器内科へ）
・循環器内科　山本明和（横浜市北部病院循環器内科へ）
・整形外科　李相亮（横浜市北部病院整形外科へ）
・整形外科　豊島洋一（江東豊洲病院整形外科へ）
・消化器・一般外科　平井隆仁（横浜市北部病院消化器外科へ）
・脳神経内科　大橋英朗（横浜市北部病院脳神経内科へ）
・小児科　長谷部義幸（横浜市北部病院小児科へ）
・耳鼻咽喉科　丸山祐樹（横浜市北部病院耳鼻咽喉科へ）
・放射線治療科　豊福康介（江東豊洲病院放射線治療科へ）
・呼吸器・アレルギー内科　松永智宏（江東豊洲病院呼吸器・アレルギー内科へ）

【学外研修へ】2019年10月1日付

・整形外科　福田悠甫
・整形外科　土谷弘樹
・整形外科　小林義人
・整形外科　天野貴司
・整形外科　臼井亮二
・整形外科　瀬川俊輔
・整形外科　遊佐香名子
・循環器内科　蜂矢るみ
・腎臓内科　飯田綾那
・消化器・一般外科　千葉誠也
・消化器・一般外科　髙野弓加
・消化器・一般外科　内田茉莉依
・消化器・一般外科　山崎達哉
・消化器内科　宇佐美智乃
・産婦人科　栗木あかね
・産婦人科　角藤結莉
・産婦人科　柴野芳彰
・脳神経内科　石田敦士
・脳神経内科　小菅将太
・脳神経内科　正路大樹
・救急診療科　矢澤悠

退職

2019年9月30日付

・腫瘍内科　松井洋人
・産婦人科　金本嘉久

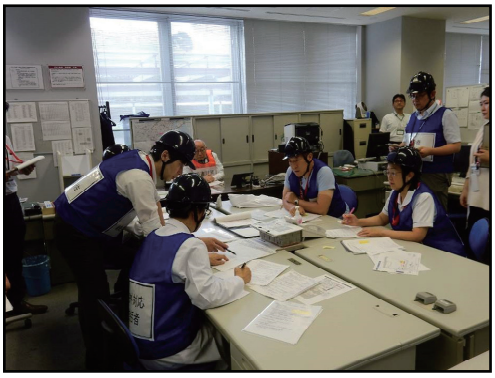
開催報告　防災訓練を実施いたしました

９月１日（日）に、昭和大学病院・昭和大学病院附属東病院において防災訓練を実施いたしました。本訓練は、東京都より指定されている災害拠点病院としての役割を担うべく、災害時の初動等に重点をおいて毎年９月上旬に実施されているものです。

震度６強の地震が発生したことを想定して、病院長が本部長となり、災害対策本部が設置され、院内外の情報収集や模擬患者の初療対応などの訓練を実施いたしました。

昭和大学病院だけでなく、昭和大学法人部門・品川区・東京都水道局との連携訓練や、旗の台一丁目町会・西中延二丁目町会・荏原消防署・荏原医師会の方々にもご参加いただくなど、多くの方々にご協力いただき、有意義な訓練を実施することができました。

今後も、災害拠点病院の役割を果たすべく、万一に備えて万全の態勢を整えてまいります。



災害対策本部の様子

初療部門の様子

開催報告　旗の台一丁目町会の祭禮に参加いたしました

９月７日（土）に旗の台一丁目町会の祭禮が開催され、当院からは板橋病院長も参加し、旗の台キャンパス学部学生、看護専門学校生は神輿を担ぎ、地域の方々と交流を深めることができました。

この祭禮は、東急大井町線荏原町駅近くにある旗岡八幡神社で、毎年 ９ 月に行われる例大祭に合わせて行われるもので、旗の台町会でも一斉に神輿を担ぎ地域の安全を祈願しています。

今後も地域交流を大切にし、地域に密着した病院づくりに努めてまいります。

小口理事長（中央右）と
板橋病院長（中央左）と参加学生たち

神輿を担ぐ参加学生たち

開催報告　DMAT隊を派遣いたしました

９月９日（月）東京都からの要請を受け、台風 15 号による千葉県の被災地支援のため、昭和大学病院より日本 DMAT 隊１チーム（医師１名、看護師２名、業務調整員１名）を派遣いたしました。

チームは９月９日（月）21 時頃に昭和大学病院を出発し、千葉県木更津市にある君津中央病院に参集した後、済生会横浜東部病院や帝京大学ちば総合医療センターへの広域患者搬送業務を行いました。

その後、９月 10 日（火）16 時ごろに昭和大学病院へ無事に帰院いたしました。

※DMAT＝災害医療派遣チーム（Disaster Medical Assistance Team）

出動した DMAT 隊（左から業務調整員１名、医師１名、看護師２名）

出動時の様子

開催報告　救急業務功労者表彰式が行われました

９月 10 日（火）昭和大学病院中央棟７階応接室にて、救急業務功労者表彰式が行われました。この表彰式は例年、９月９日の「救急の日」に関連して、荏原消防署より昭和大学病院の救急業務に従事している医療関係者に感謝状が贈られるものとなっております。

今年度は、救命救急科 医師 前田敦雄、救命救急センター看護師 米山麗紀、放射線技術部 診療放射線技師 薄井裕美の計３名に感謝状が贈られました。

表彰式には板橋家頭夫病院長をはじめとした病院職員も出席し、表彰者たちを讃えておりました。

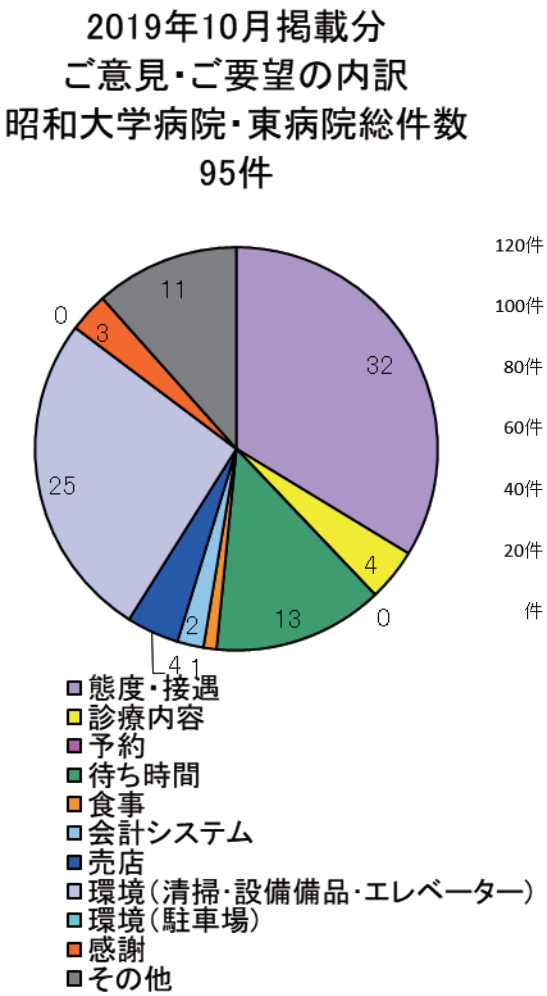
（救命救急科 前田医師は、都合により表彰式当日はご欠席となり、後日表彰状をお渡しいたしました。）

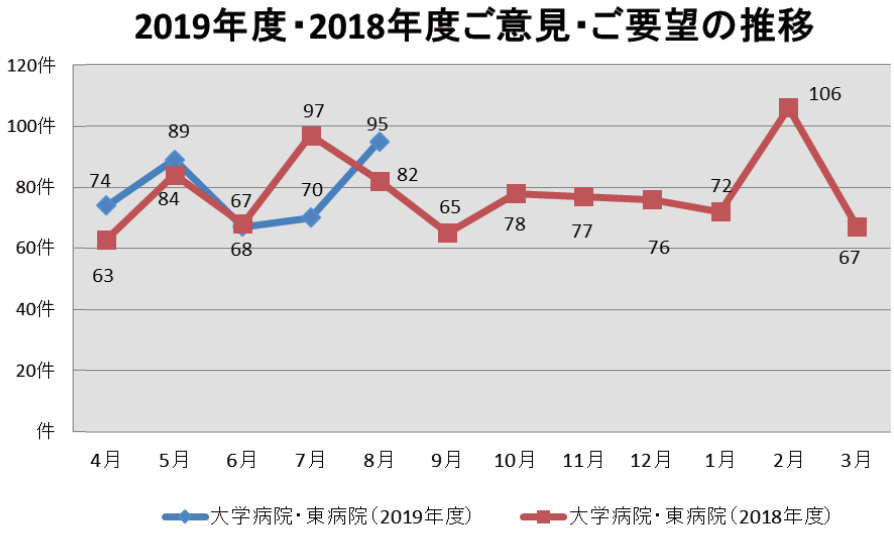
集合写真

（上段左から、荏原消防署長、板橋家頭夫病院長、井口救命救急センター師長、渡邊放射線技術部課長、荒川看護部長）（下段左から、米山看護師、薄井診療放射線技師）

患者さんのご意見・ご要望

ご意見・ご要望	回答	回答部署
帝王切開手術等で担当してくれた先生へ。手術前は本当に恐怖で一杯でしたが、手をずっと繋いでくれたり、麻酔科の先生とも楽しい話をしたり、初対面とは思えない安心感を頂いて手術に挑めました。 始めに臍帯卵膜付着を見つけてくれたＡ先生、ありがとうございました。外来、手術を担当してくれたＢ先生は、たまに面白い感じで話しやすく、分かりやすいことは何でも聞ける先生でした。	手術中の不安を当科スタッフの行動により、緩和できることができたのは、大変嬉しく思います。今後とも医学的な側面だけでなく、患者さん、ご家族の心理的な面まで配慮できるように尽力して参ります。 大変励みになるお言葉ありがとうございました。	麻酔科
病棟なのにロビーなど暑すぎます。	貴重なご意見を頂きありがとうございました。また、ご迷惑をお掛けし申し訳ございません。 入院棟の空調は、全館統一の温度・湿度で制御し運転しております。また、省エネ対策の一環として温度設定を 28℃設定で運転しております。 ご不便をおかけしますが、何卒ご理解の程お願い申し上げます。	施設部





開催報告　院内コンサートが開催されました

８月２日（金）15 時より東病院３階病棟のデイルームにて、第 34 回院内コンサートが開催されました。

今回は、４人ユニットで、中国伝統楽器である二胡の演奏をお届けしました。

外は猛暑の中、涼しげで優しく哀愁のある音色と共に、参加者からも歌声が響き渡っていました。

編集後記　看護部　樋口（ひぐち）　恵子（けいこ）

秋を感じる今日この頃、『読書の秋』『スポーツの秋』『芸術の秋』『実りと食欲の秋』。

皆様はどんな秋を連想されますか？　　私はやはり、実りと食欲の秋・・・

どんな美味しいものを食そうかなどと、実った果実などを想像し、うつつを抜かしていると、すぐにハロウィン、クリスマス、そして年末へと、今年も終盤に差しかかっていることに気づきます。

さて、自分自身の実りの味は、美味しいものになっているのでしょうか？

昭和大学病院･附属東病院の理念

- 患者本位の医療
- 高度医療の推進
- 医療人の育成

昭和大学病院・附属東病院の基本方針

- 患者さんと共にチーム医療を実践する。
- 特定機能病院及び地域の基幹病院として高度急性期医療を推進し、質の高い医療を提供する。
- 教育病院としての機能を充実し、質の高い医療人の育成を行う。
- 人間の尊厳及び人権を守りつつ、高度な臨床研究を実践する。

ご意見・ご要望につきましては、メールアドレス：tayori@ofc.showa-u.ac.jp までお願いいたします。

病院広報委員会委員：　稲垣 克記、大嶽 浩司、岡崎 靖子、五藤 哲、佐藤 久弥、嶋村 弘史、鈴木 隆、鷲見 賢司、富田 英、中村 清吾、樋口 恵子、水庭 隆史、山岸 昌一、吉田 仁、渡辺 愛理、渡邊 聡（50 音順）